中國新聞

発行所　広島市中区土橋町7番1号　郵便番号730
中国新聞社
電話（082）236-2111（受付案内台）
郵便振替口座　01370-0-57
© 中国新聞社　1995

広島　きょう被爆50年

世代・国境超え平和の祈り

広島は六日、被爆五十年の節目を迎えた。爆心地のすぐそばの中区中島町、平和記念公園で午前八時から、広島市主催の原爆死没者慰霊式・平和祈念式が営まれる。初めて子ども代表二人が「平和への誓い」を読むなど、被爆体験の継承を強く意識した式典となる。

【2・3・4・5・9・13・23・26・27面に関連記事】

「平和への誓い」は、被爆から半世紀たち、体験継承が大きな課題となっていることから、次代を担う子どもたちの決意を式典の中で発表する。原爆が投下された午前八時十五分に鳴らされる「平和の鐘」は、昨年まで遺族代表二人が打っていたが、今年から遺族代表と子ども代表それぞれ一人になる。

式典には朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）、中国、ブラジル、インドネシアなど九カ国の被爆者を初めて招待するのをはじめ、十一カ国二十人の被爆者・遺族代表が参列する。

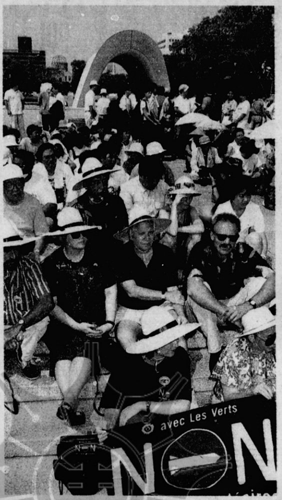
村山富市首相や土井たか子衆院議長が昨年に続いて参列。四日に選ばれたばかりの斎藤十朗参院議長と、草場良八最高裁長官を含め、「三権の長」が初めてそろって出席する。

遺族代表二人と平岡敬市長が原爆慰霊碑に奉納する原爆死没者名簿には、この一年に亡くなった被爆者と、新たに死亡が確認された被爆者合わせて五千九十四人が記帳された。名簿は二冊増えて六十五冊、搭載者数は計十九万二千二十人になる。

式典では「平和の鐘」に合わせて全員が黙とうした後、平岡市長が平和宣言。原爆は「明らかに国際法に違反する非人道的兵器」と指摘するとともに、共通の歴史認識を持つために被害と加害の両面から戦争を直視するよう呼び掛ける。

首相広島入り

村山富市首相は五日夕、広島市原爆死没者慰霊式・平和祈念式（六日）に参列するため、特別機で広島空港に到着した。



原爆慰霊碑前で核実験抗議の座り込みをする原水禁世界大会の参加者ら

「核実験　世界の声に逆行」

原爆慰霊碑前　500人座り込み

中国の核実験やフランスの核実験再開決定に抗議して、原水禁国民会議などの原水爆禁止世界大会参加者らが五日、広島市中区、平和記念公園で座り込みをした。原爆慰霊碑前で約五百人という、大規模な座り込みになった。

強い日差しの中、参加者は石畳の上に座り、無言で抗議の意思を示した。広島、長崎の被爆者や、フランス、米国、オーストラリアなど大会の海外代表十人も加わった。全国被爆教職員の会の石田明会長は「核実験は核兵器廃絶を望む世界の声に逆行する」と訴え、被爆者が阻止運動の先頭に立つ決意を述べた。

オーストラリア労働党のフランカ・アレナ上院議員は「この声を全人類に広げよう」と提唱。フランス緑の党のマリ・フランソワズ・メンデス書記長は「フランス人は核実験を再開してほしくてシラク大統領を選んだのではない。市民の力で実験を停止させたい」と述べた。

座り込みは、世界大会開催に合わせて計画。午後二時から約四十分間続け、「フランス、中国は直ちに核実験計画を中止せよ。すべての核保有国は包括的核実験禁止条約を即時締結せよ」とのアピールを採択した。

米国、フランス、台湾など海外のマスコミ関係者も座り込みを取材した。

原爆慰霊碑前の座り込みは一九七三年七月、フランス核実験をきっかけに核実験の都度実施し、今度で四百八十八回目。

内閣改造　8日にずれ込みも

河野外相なお留任難色

与党3党首　あす再協議

村山　首相

河野　外相

武村　蔵相

村山富市首相（社会党委員長）ら連立与党三党首は七日、あらためて内閣改造問題を協議するが、河野洋平自民党総裁（副総理兼外相）は総裁選出馬を念頭に、首相の外相ポスト残留要請に強い難色を示しており、調整は難航必至。このため、七日中の改造実施は微妙で、八日にずれ込む見通しも出てきた。

【2面に関連記事】

河野氏は五日午前、都内の事務所前で「何のための改造か考えたい」と述べ、なお去就を熟慮中であることを示唆した。政府与党内は「改造がうまく行くかどうかは河野氏の態度次第だ」（首相周辺）との受け止め方が大勢で、自民党内の調整進展が焦点となってきている。

一方首相は、河野氏の総裁選の対抗馬とみられる橋本龍太郎通産相の東南アジアからの帰国を受けて、早ければ六日夕にも会談、留任を求める考えだ。だが、橋本氏の側近筋は五日、「河野氏は総裁選シフトを敷こうとしており、黙視できない」と反発。河野氏が無任所副総理に固執した場合、橋本氏も閣外に出るとの強硬姿勢を隠していない。

首相と河野氏、武村正義さきがけ代表（蔵相）は四日夜の会談で、今週前半を目標に「適切、妥当な規模」で改造を断行する方針で一致。首相は、改造内閣でも「三党首体制」を堅持する立場から両党首が現職に留任することを「絶対条件」として求めた。

これに対し河野氏は、激務の外相ポストから副総理のまま無任所相への横滑りなどを念頭に抵抗。改造問題は、森喜朗幹事長の重要閣僚としての入閣、後任幹事長に三塚博氏の起用という河野氏の党人事の基本構想と直結、複雑な様相を呈している。

さきがけ内では、武村氏の蔵相辞任を求める声が消えていないものの、総裁選対応を優先する河野氏への批判も強まっている。武村氏は橋本氏の去就をめぐって改造人事が紛糾しない限り、留任を受け入れる見通し。

橋本通産相が帰国

村山富市首相の特使としてインドネシア、フィリピンを訪問していた橋本龍太郎通産相は日程を終え、五日午後七時四十分すぎ、成田着の日航機で帰国した。

米越、正式に国交樹立

両外相が文書調印

「協力」軸に新時代

【ハノイ5日吉田共同記者】米国務長官として初めてハノイを訪れたクリストファー国務長官は五日、グエン・マイン・カム外相との間で国交樹立文書に調印した。ベトナム戦争終結から二十年ぶりの歴史的な和解で、両国関係は協力を主軸にした新時代を迎えた。

【4面に関連記事】

ベトナムの東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟に続く両国の国交樹立は今後、冷戦後のアジアにおける新秩序形成に向けた動きを加速させよう。

国交樹立は、双方が合意した七月十二日（米時間同十一日）にさかのぼる。

調印式典で長官は「十年間の戦争とその後二十年間続いた疎遠だった関係を一新しよう」と述べ、過去を乗り越えた広範な協力関係に意欲を表明した。

一方カム外相も「米国との新たな健全な関係を構築する」とこれにこたえたが、両国関係は「内政不干渉の原則」に基づくべきだ、とも指摘。今後予想される人権、民主化問題での米国の干渉を暗にけん制した。

しかし、クリストファー長官が記者会見で明らかにしたところによると、調印後の外相会談で、ベトナム側は人権問題が米国にとって重要な懸案であり、今後も協議をしていくことに同意した。長官は「良い、意味のある会談だった」と強調した。

経済面では、貿易協定締結や最恵国待遇（MFN）供与問題、相互投資協定などを話し合うため、来月初めにハノイで実務協議を開催することで合意した。だが、長官はMFN供与には議会の承認が必要なことを指摘。「辛抱強く進める」と述べ、早期の実現が難しいことを認めた。

双方は、ベトナムや中国などが領有権を主張する南沙（スプラトリー）諸島問題も協議したが、突っ込んだ意見交換はなかった。

カム外相は、米側が対ベトナム関係で「最重要課題」とするベトナム戦争当時の行方不明米兵（MIA）問題で今後も協力をしていくと言明した。

クリストファー長官は外相会談の後、レ・ドク・アイン大統領と会い両国関係を話し合った。

六日は米連絡事務所を大使館に正式に格上げするほか、共産党本部を訪れ、ドー・ムオイ書記長、ボー・バン・キエト首相と会談、経済関係の強化などを協議する予定。

ヒロシマの形見
伝えよう被爆資料

再建のお寺に主人の姿なく

つり灯ろう50年ぶり"古巣"へ

さびたつり灯ろうが、広島市西区三滝本町一丁目、浄土宗誓願寺へ五十年ぶりに帰ってきた。元の寺は現在の広島市中区、原爆資料館あたり。当時は材木町と呼ばれた爆心地直近にあって、全壊、全焼した。三滝に再建された寺へこの夏、佐伯区五日市町石内、団体職員窪田正義さん（六三）が届けた。

窪田さんは原爆投下から五日後、父の盛夫さん（一九五八年、五十五歳で死去）に連れられ、誓願寺門前にあった叔母の家を訪ねた。叔母の一家は疎開して無事で、父は片付けが目的だったらしい。誓願寺の境内のどこかで、父は灯ろうを拾った。大八車に積んで持ち帰った。

高さ約三十㌢の灯ろうは、窪田さんの自宅の軒下につるされた。五角形の飾り屋根は、原爆で吹き飛ばされたためか、所どころ欠けている。鋳物製とみられ、今、さびが吹き出し、ぼろぼろとはがれ落ちる。

爆心地から五㌔以上離れた石内で、「その瞬間、ほおに熱さを感じ、しばらくして黒い雨に打たれた」という窪田さん。そんな8・6当日の体験とともに、父と入った焼け跡のきな臭さ、生臭さも忘れられない。

「五十年の区切りにお返ししよう」。窪田さんは七月中旬、妻の喜代子さん（五九）と誓願寺を訪ねた。お供えの米二升とともに、広瀬隆慶住職（四七）に渡した。

「前から気になっていたしね、当たり前のことをしたまで」と窪田さん。

誓願寺は戦前、約一万平方㍍の境内があり、「広島の三大伽藍（がらん）」と呼ばれるほど大きな寺だった。爆心地から五百㍍圏内で、人も物もすべて焼かれた。七百世帯以上あった檀家（だんか）は半分に減った。

原爆を知らない広瀬住職は、つり灯ろうを大切に保存しようと、アクリルケースを発注した。五日、ケースは寺に届き、灯ろうを収めて本堂に置いた。六日朝、犠牲者を供養する五十年のおつとめをする。

50年ぶりに誓願寺に帰ったつり灯ろう。さびが歳月をしのばせる

天風録

「ヒロシマ・ナガサキの修学旅行を手伝う会」の江口保さんは、毎年八月六日には、広島市内のいろんな慰霊碑にお参りする。児童や生徒たちに、碑の前で体験を話してくれた被爆者に感謝しながら…。でも、今回は「今年いっぱいで広島を引きあげ、東京に帰ります」との報告がある▲初めてのヒロシマ修学旅行からもう十九年たった。東京都葛飾区立上平井中学校の先生をしていた。自身も長崎の被爆者である江口さんは、実感のこもった被爆者の話をゆかりの場所で生徒に聞かせたい、と思った。生徒と同年齢の子供を亡くした被爆者の母の話は、生徒の心を打つに違いない▲被爆者を訪ねると「話したくない」と断られた。「話してくれなくてもいい。生徒と一緒にお子さんの慰霊碑にお参りしてください」と説得した。修学旅行の日、碑に花を供える生徒たちを見て、その母は被爆死した子供を思い出し、絶句し、涙を流した。その涙が生徒たちにヒロシマを教えてくれた▲教職を退き、広島にアパートを借り、修学旅行の手伝いを始めて十年目。これまで約千校の世話をした。最近、ヒロシマ修学旅行が業者任せになっていく。教師が下見に来て、被爆者に会うぐらいの熱意を見せてほしい、といらだつ▲高級ホテルは建つが、生徒が泊まれる宿がない。雨が降ると、被爆者の話を聞く場所もない。広島市に訴えても環境は一向に整備されない▲被爆五十周年の今年は修学旅行も多かった。問題は来年以降だろう。六十七歳の江口さんは、まだ東京に「手伝う会」の看板を掲げておくつもりである。

主な記事

- 検証ヒロシマ1945～95　伝える⑩「被爆者たち」（10・11面）
- 広島快勝、ヤクルトに3差（21面）
- 改氏婚、遺族給与金出ない（27面）
- ◇7面・カラー特集「きずな求めて」

きょうの天気

□は降水確率（%）朝（6－12時）、昼（12－18時）、夜（18－24時）の順

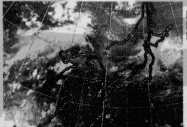
【概況】中国地方は7日にかけても太平洋高気圧に覆われる。各地とも晴れの天気が続き、暑さは厳しい。午後は中国山地沿いを中心に夕立の降る所がある見込み。

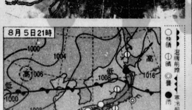
（広島地方気象台発表）

	朝	昼	夜	
広島	0	10	10	晴
山口	0	10	10	晴
岡山	0	10	10	晴
島根	0	10	10	晴
鳥取	0	10	10	晴
愛媛	0	10	0	晴▽あす＝晴
東京	0	10	10	晴時々曇▽あす＝晴時々曇
大阪	0	10	10	晴時々曇▽あす＝晴時々曇
福岡	0	10	10	晴▽あす＝晴
札幌	30	30	50	曇一時雨▽あす＝曇
仙台	20	30	60	曇後時々雨▽あす＝曇時々雨
鹿児島	0	10	0	晴▽あす＝晴
沖縄	10	10	10	晴時々曇▽あす＝晴時々曇

週間	⑥	7	8	9	10	11	12
広島	☀	☀	☀	☀/☁	☀/☁	☀/☁	☀
山口	☀	☀	☀/☁	☁/☀	☁/☀	☁/☀	☀/☁
岡山	☀	☀	☀	☀/☁	☀/☁	☀/☁	☀
島根	☀	☀	☀	☁/☀	☁/☀	☀/☁	☀
鳥取	☀	☀	☀	☁/☀	☁/☀	☀/☁	☀

5日21時「ひまわり5号」撮影





広島の名酒
菱正宗
さわやかな季節の味
生
吟醸
純米
広島 久保田酒造㈱ 可部

むぎ焼酎
かのか
協和発酵

原爆から50年目の朝に

私たちは、50年前のこの朝、広島上空に投下された原子爆弾を、人類の歴史に対する重大な挑戦と考えます。

私たちは、過去において日本の犯した罪を近隣諸国の人々に詫び、同じ過誤を繰り返さぬことを良心に誓います。

私たちは、あの朝350名の教師、学生、生徒を失った学園として、核兵器廃絶と戦争の根絶を強く訴えます。

私たちは、「核兵器不拡散条約」無期限延長の現状を憂慮し、保有国の実験強行に抗議し、核廃絶をめざしての「包括的核実験禁止条約」の早期成立をせつに望みます。

学校法人　広島女学院

禁じられた原爆体験
堀場清子著
GHQはあらゆるメディアにわたる検閲作戦を展開した。その中で、被爆直後に書かれた多くの原爆体験も葬られた。残された資料をもとに、検閲の実態と日本人の対応を追求した記録。
四六判・定価二三〇〇円

復刊
写真集　原爆をみつめる
—一九四五年広島・長崎—
飯島宗一・相原秀次編
広島と長崎を壊滅させた原爆災害の様相を、三〇〇枚の写真と撮影者・被爆者の証言によって綴る。貴重な歴史的記録として必読。
A4判変型・定価四八〇〇円

被爆者たちの戦後五〇年〔岩波ブックレット〕
栗原淑江
五〇年間の日々に高められた反原爆の思い。いま初めて綴り始めた自分史の数々。
A5判・定価四〇〇円

ヒロシマ・ノート〔岩波新書〕
大江健三郎著
被爆者達の悲惨と威厳に直面し、平和と人間性の追求を訴える名著。
定価五八〇円

わたしが生きた「昭和」
澤地久枝
自身の人生と家族の歴史を重ねながら、「昭和」の時代をたどり直していく。貧しさと戦の日々から見えてくるものは何か——渾身の書き下ろし。
四六判・定価一六〇〇円

平和の景色　私の原点
弓削達著
「玉音」放送を聞いた後の解放感……生涯忘れられないあの風景を原点に、平和思想、日本国憲法、歴史認識の課題を自分史と重ねて綴っていく。
四六判・定価二〇〇〇円

南京難民区の百日
笠原十九司
虐殺を見た外国人—南京虐殺の渦中に、避難民救済に奔走する米国人宣教師がいた。新資料を用い事件の全体像を描く。
四六判・定価二四〇〇円

戦争責任論—現代史からの問い
荒井信一著
日本の戦争責任を世界史的視野で考察。今世紀の戦争とその惨禍をふまえて、戦争責任論の意義を明示する。
四六判・定価二四〇〇円

日米　戦争観の相剋—摩擦の深層心理
油井大三郎著
真珠湾から湾岸戦争まで、日本とアメリカの戦争観の内実をたどる。戦争の記憶のギャップは解消できるか。
四六判・定価一八〇〇円

日本人の戦争観—戦後史のなかの変容
吉田裕著
この半世紀、日本人のアジア・太平洋戦争観はどのように形成され、どう変化したか。広範な素材から検証する。
四六判・定価二二〇〇円

石の証言—米軍捕虜虐殺事件
稲垣瑞雄著
一九四五年八月八日、B29からパラシュートが……米軍捕虜に真先に竹刀を振りかぶったのは誰だったか。
四六判・定価二〇〇〇円

平和への意志　『世界』編集後記　一九四六—五五年
「戦後」への訣別　『世界』編集後記　一九五六—六〇年
吉野源三郎
平和に対する基本的原理と日本の主体的姿勢を問いつづけた、十年余にわたる編集後記の集大成。
B6判・定価各二五〇〇円

●戦後50年日本の〈いま〉を考えるフェアのお知らせ——紀伊国屋書店広島店／廣文館本通店／丸善広島本通店／啓文社ブックシティ店で戦後半世紀を考えるためのフェアを開催しております。ぜひ、お立ち寄り下さい。

岩波書店　東京都千代田区一ツ橋（定価は税込み）

お求めの岩波書店の出版物が小売書店の店頭にない場合は、その書店にご注文ください。